

平成 30 年 4 月 26 日

保護者各位

薩摩川内市立海星中学校

校長 瀧上 盛人

生徒作文の新聞掲載について（お知らせ）

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと拝察いたします。かねてより、本校教育活動について御理解と御支援を賜り感謝申し上げます。

さて、4月26日（木）の南日本新聞『若い目』の欄に、1年生の岩脇考真さんの作文が掲載されましたのでご紹介いたします。

中学生生活楽しみたい  
海星中1年  
岩脇 孝真  
目覚まし時計が鳴った。「ついに入学式かあ」。朝ごはんを食べると、制服に着替えて家を出た。中学校につくと、受け付けを済ませ、技術室で入学式の打ち合わせをした。歩く幅や礼など大変だったが、しっかりと覚え、無事に入学式を終えることができた。  
いよいよぼくも海星中学校の生徒の仲間入りだ。海

星中は「K・A・I・S・E・I魂」やあいさつ、無言そうじなどに力を入れている。一員になった今日からは、しっかりといろいろなことに取り組んでいきたいと思った。  
しかし、1日目はやっぱりきん張してしまう。それでもなんとなく乗り越えた。数日後に先輩たちが、昼休みに遊ぼうとさそってくれた。このときぼくは「海星中の先輩たちは、とても優しいなあ」と思った。今週は二日一日が早く感じた。

つまり毎日が楽しかったということだ。  
ぼくがちよつと不安に思っている授業は、小学生との中期交流学习だ。でもそれを乗り越えたら、とても達成感があると思う。海星中に入学したからには、いろいろな行事を楽しみたい。  
(薩摩川内市)

若い目